KOMERI.COM

カボチャの育て方

カボチャとはウリ科の１年草で、中央アメリカが原産とされています。
日本には江戸時代より前にカンボジアから伝わったとされており、”かぼちゃ”の名前が定着した。
東洋カボチャと西洋カボチャ・ペポカボチャがあり、現在栽培されているカボチャはほとんどが西洋カボチャになります。

■ 年間カレンダー

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般地	タネまき				■	■							
	定植					■	■						
	収穫							■	■	■			

発芽適温：25～30℃　生育適温：20～25℃
土壌適応性：ph5.5～7.0　輪作年限：0年

ウリ科には珍しく連作が可能です。
土壌条件としては特に土質を選びませんが、乾燥に強く、過湿には弱いので排水の良い畑での栽培を行ってください。それと、吸肥力が旺盛なために、肥沃な土地や多肥料栽培ではつるボケがしやすいので注意してください。
早い時期の栽培では人工授粉が必要になります。確実に着果させ、完熟したものを収穫するように心がけてください。

1 タネまき

ポットにタネまき用の培土を入れ、土を湿られてから2～3粒種をまきます。
定植までには1本に間引きをしてください。

2 畑の準備

植え付けの2週間前位に堆肥と石灰、油粕等を散布し、よく混ぜておきます。

3 定植

本葉が4枚前後で60～80cm間隔で定植になります。この時につるを伸ばし方向とは逆方向に少しずらして定植します。
稲わらを敷くとつるが絡まるので風でつるが動かされなくなります。

4 管理

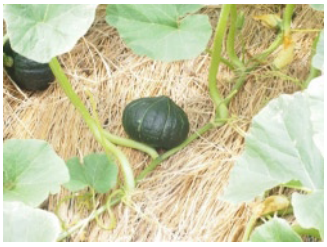
親づるが本葉4～5枚で摘芯し、子づるを2～3本伸ばします。

雌花が咲いたら早朝に雄花の花粉を人工的に授粉させます。
節から伸びてくる脇芽は切り取ってください。

着果したら追肥を行いますが、窒素を多く与え過ぎないよう注意してください。
果実が直射日光にあたってしまうと「日焼け」を起こし腐れの原因になります。
新聞紙や稲わらで日除けを行ってください。

5 収穫

着果後45～50日前後で収穫になりますが、日数収穫になりますが、日数が把握できていない時には、ヘタの部分のコルク化を確認してから収穫します。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいやくらしに役立つノウハウが満載です。

Copyright©KOMERI Co.,Ltd. All rights reserved.